

# KLIS TODAY

No.  
44

筑波大学 情報学群 知識情報・図書館学類

## 文理の壁に春日から挑む

鈴木 伸崇

知識情報・図書館学類は、ご存じの通り情報学群を構成する3学類の一つで、「情報系」であること自体は疑いの無いところです。その一方で、文理の枠に囚われない学類でもあり、プログラミングから哲学まで多様で幅広い科目を学ぶことができるのが大きな特徴です。しかしながら、その幅広さゆえに戸惑われた方々が、特に学生さんには少なからずいらっしゃるのではないかと思います。なぜ我々は、このような幅広い領域を対象としているのでしょうか。

イギリスの小説家チャールズ・P・スノーは、クライスツ・カレッジ（ケンブリッジ大学）で物理学を学んで学位を取得し、のちに小説家に転身した経歴の持ち主です。文系と理系、双方の考え方に通じている彼は、「二つの文化と科学革命」と題された講演の中で、人文的文化と科学的文化の間には超え難い壁があり、両者は互いに理解し合うことができないと指摘しています。この講演は1959年に行われたもので、既に60年以上が経過していますが、この壁はなくなるどころか、さらに大きく我々の前に立ちはだかっているように思えます。

知識情報・図書館学類の学びは、この壁に対する春日からの挑戦です。情報技術がこれだけ社会の隅々に浸透し、複雑化・多様化が急速に進む現代社会において、文系だけ、あるいは理系だけの知識で問題解決を図ることはもはや不可能です。新たな創造を産む力は、異なるものが出会うところから生まれます。この学類で学ばれている皆さんには、目先の単位に一喜一憂することなく、文理の壁を超えた学びを大いに楽しんで、春日から社会に、そして世界に羽ばたいていかれることを心から願っています。

（すずき・のぶたか 知識情報・図書館学類長 教授）



知識情報・図書館学類  
College of Knowledge and Library Sciences

〒305-8550 つくば市春日1-2  
Tel 029-859-1110 Fax 029-859-1162  
URL <https://klis.tsukuba.ac.jp/>  
E-mail [klis-info@inf.tsukuba.ac.jp](mailto:klis-info@inf.tsukuba.ac.jp)

## オンラインから対面へ

今年度から学生生活の多くの場面がオンラインから対面に戻ります。関係する方々からメッセージをいただきました。

## オンライン授業から対面授業へ

高久 雅生

コロナ禍のなかで、筑波大学では2020年度春学期から全面的なオンライン授業が始まりました。その後2022年度の秋学期からは、厳格な感染対策の運用が緩和されたことに伴って、今度はオンライン授業から対面授業に戻ることが求められました。一方、コロナ禍のなかでの調査結果からは、約6～7割の学生がオンライン授業の方を対面授業よりも好む傾向があることもわかりました。本学類でも、このような社会的要請と学生からの希望、対面授業がもつメリットとオンライン授業がもつメリットやデメリットも勘案しながら検討し、いくつかの科目を除いて、2023年度からは対面授業を基本的な授業形態とすることとしました。

対面授業を再開してみたの個人的な感想にはなりますが、この3年間のオンライン授業によって得られた経験は今後も活かしたいと感じました。例えば、対面授業のなかでもオンデマンド型の資料を活用したり、学生への素早いフィードバックを返したりするなど、オンライン授業のときのメリットを活かした、より良い学習効果が得られる取り組みの可能性は多くあると考えています。

また改めて、コロナ禍のなかで学類での学びに真摯に向き合ってくれた学生の皆さんと、授業内外で支援いただいた教職員をはじめとする関係者に謝意を表したいと思います。ありがとうございました。

(たかく・まさお 知識情報・図書館学類 准教授)

## ようこそ、キャリア相談室へ

神村 孝子



春日キャリア相談室では4月より対面面談を再開しました。今回は「対面」ならではの活動をご紹介します。①「対面面接練習」最近の企業・団体の採用面接では対面式が増えてきました。学生さんからは「面接室の入退出のマナーも含めて、リアルな面接練習ができる。」と好評です。②「カードゲームで自己発見」進路・就職を考えるために自分の強みや価値観、どんな働き方をしたいかなど、カードを選びながら言葉にしていきます。カードをめくりながらのトークはゲーム感覚もありお話ししやすいようです。③「ふんわりトーク会」進路について気になることや知りたいことを学生同士で話す少人数のトーク会です。予約不要でどの学年の方も参加できます。学年を超えた「KLISあるあるトーク」で盛り上がることも。面談予約が入っていない時間帯に「ちょっといいですか?」と立ち寄ってくださる方もいます。どうぞ気軽にいらしてください。お待ちしております。

(かみむら・たかこ キャリアアドバイザー)

## 春日ラーニングコモンズ (KLC) 活動紹介

吉澤 暁人

知識情報・図書館学類が、学類生に向けて用意している施設や支援の一つに、春日ラーニングコモンズ (通称KLC) があります。KLCでは、主に全学計算機端末 (PC、プリンタ) や学習・交流スペースの利用、上級生チュータによる学修相談を提供しています。

KLCは通常のラーニングコモンズとは異なり、活動当初より学生主体で運営されてきたことが特徴です。過去には、メンバーが中心となり結成された「図書館情報学若手の会」として、ワークショップの開催や図書館総合展でのポスター出展を行うなど、多様かつ活発な活動を行ってきました。

近年では、オンラインでの学修相談や、学生間の交流の促進を目的としたイベントの企画・開催など、新たな試みに挑戦しています。特に本年度は、活動に際しての制限がほとんどなくなったため、チュータ活動を再構築していくことになるでしょう。ぜひお気軽に学修相談を利用してみてください。

KLCの活動が、皆さんの大学生活の一助となることを願っています。

(よしざわ・あきと 情報資源経営主専攻4年次)



昨年度開催した  
交流イベントの  
ポスター

### 参考文献

- 1) 日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編. 図書館情報学用語辞典. 第5版, 丸善出版, 2020, 287p.
- 2) 歳森敦. 特集, ラーニング・コモンズ: 筑波大学図書館情報学図書館でのラーニング・コモンズ誕生—教育との連携による小規模モデルの試み—. LISN, 2010, no. 144, p. 1-5.
- 3) 松本紳, 逸村裕, 歳森敦. 筑波大学情報学群知識情報・図書館学類について—人材育成を中心に—. 大学図書館研究, 2011, vol. 91, p. 9-14.

## こんにちは、春日総合相談窓口です。

飯田 亜紀・竹田 祐子

春日総合相談窓口をご存じですか。学群教務から徒歩30歩のところにあります。平日午前か午後で半日開室しています。心理士の資格を持った学生相談室のカウンセラー 2人 (明るいおばさん2人です) が交代で担当しています。

ここはいわば春日エリアのかけこみ寺です。気軽に安心して相談に来て下さい (カウンセラーには守秘義務があります)。どこに相談したらいいかわからない時もどうぞ。他につなぐ役割もあります。

最近はこんな相談もあります。「オンラインに慣れてしまい対面授業がづらい」。まずはしっかりお話を伺い、どうしていくのがいいか一緒に考えます。継続的な相談になることが多いです。場合によっては大学内のアクセシビリティのサポートや精神科受診をすすめることもあります。

困りごとや悩みは人それぞれ、いろいろです。おひとりで悩まずに、ぜひご相談下さい。電話やズーム相談もOKです。



(いいだ・あき、たけだ・ゆうこ 学生相談室、春日総合相談窓口)

## 知識情報・図書館学類の 新しいロゴとスローガンができました！

学類では2023年度、新たにロゴマークとスローガンを作成しました。作成の経緯や、そこに込められた思いについて、取りまとめを行った松原正樹先生にお伺いしました。

### ——作成の経緯について教えてください。

知識情報・図書館学類では、学類の魅力をより多くの人に伝え、存在感を向上させることを目指してさまざまなブランディング戦略を展開しています。その一環として、スローガンの作成やロゴマークのデザイン、パンフレットの刷新などが行われました。学類内の関係者やデザイナーと協力し、学類の特徴や強みを的確に表現する方法を模索した成果として、今回のスローガンとロゴマークが決まりました。

### ——スローガンの含意について教えてください。

スローガン「つなぐー知識、情報、人。」は、学類のアイデンティティをどこに感じるのか、先生方や学生の皆さんに伺いながら案を絞りました。知識情報・図書館学類創設時の理念を受け

継ぎつつ、出てきたキーワードが「知識」「情報」「人」です。学類で学ぶ知識情報学には、この3つを様々な組み合わせ方で「つなぐ」方法や技術について、また図書館に代表されるような、「つなぐ」ための場について焦点が当てられています。「知識と人」「知識と情報」「人と人」など、色々な組み合わせが考えられますね。スローガンではこのような多様性を包摂しつつ、学類のみんなが拠り所にできるような表現を目指しました。本学類を目指す方や在学生・卒業生の方々にとって、自分の学びたいこと・学んだことがこのスローガンのキーワードでどのように表現できるかを考えることで、ご自身を振り返るきっかけとなれば幸いです。

つなぐー知識、情報、人。

学類スローガン

### ——ロゴマークの意匠について教えてください。

ロゴについては、知識が有機的に発展し育っていく姿を、本学類の前身諸学校（筑波大学図書館情報専門学群、図書館情報大学、図書館短期大学）にもゆかりのある橘の樹で表現しました。その土台には、私たちのルーツでもある本のイメージがあしらわれています。学類の特徴をうまく組み込むために、試行錯誤しました。枝の形が、学類の略称であるKLiSになっているのにもお気づきでしょうか？これから色々なところでこのロゴマークを目にする機会もあるかと思いますが、その時には、ロゴに込められたメッセージを思い出していただければ嬉しいです。

（まつばら・まさき 知識情報・図書館学類 准教授）



知識情報・図書館学類

College of Knowledge and Library Sciences

学類ロゴマーク